

映画『明日へのコード』

夢の形が変わっても、
夢は終わらない。



監督 小川美月 (MIZUKI / LEA)

2027年秋 劇場公開予定 | 撮影地：大阪

夢を叶えた人の成功物語ではない。

『明日へのコード』が描くのは、夢を追う人たちの華やかな姿だけではありません。夢を追う中で生まれる迷いや葛藤、思い描いていた未来と現実との違い、夢から離れること、立ち止まること。そして、それでももう一度前を向こうとすること。

物語には、美月自身がアーティストとして活動する中で実際に経験してきた想いや葛藤に加え、出演者たちがそれぞれの人生で経験してきた悩みや挫折も重ねられています。誰か一人の実話をそのまま再現するのではなく、夢を追ってきた人たちが感じてきた“本当の感情”を、一つの物語として紡いでいきます。

「夢を叶えられなかった人は、 本当に失敗なのだろうか」

この映画は、夢を叶えた人の成功物語ではありません。
夢に傷ついた人たちの再生の物語です。

THEME

夢は、叶えるだけではなく、
人から人へ受け継がれていく。

『コード』には音楽のコードだけでなく、人から人へ受け継がれる想い、未来へつなげるメッセージという意味を込めています。

映画『明日へのコード』あらすじ

夢を追い続けることは、本当に幸せなのだろうか。小さなカフェ「CAFE Refrain」。店を営む美月は、そこを訪れる人たちの日常を、古いビデオカメラで静かに撮り続けています。

蓮 路上で歌い続けても、なかなか人に足を止めてもらえないミュージシャン。

そら デビューを目前にしながら、娘・るあを産む人生を選び、歌うことから離れた。

優那 モデルとして評価され始める一方、「このままでいいのか」という不安を抱える。

かれん ダンスを教える立場になりながら、自分自身の未来を探し続けている。

美月 かつて自分自身も夢を追い、その世界を離れた。

そんな彼らを少しずつつないでいくのが、そらの幼い娘・るあと、一本のギター。るあの「うた、たのしい？」という何気ない一言が、“好き”だった気持ちさえ見失いかけていた大人たちの心を動かしていきます。

やがて美月は「新しい曲を作ろう。今の私たちの曲」と提案。それぞれの迷いや選択、もう一度前へ進もうとする想いから、一曲の歌「BRAND NEW CODE」が生まれます。

そして物語は十数年後へ。成長したるあは、一冊の古いノートとギターを手にオーディション会場へ向かいます。母が残した「好きだから」という言葉とともに、かつて母たちが作った「BRAND NEW CODE」を歌い始めます。

誰かが叶えられなかった夢は、失敗なのか。

夢を追った時間は、その人だけのものなのか。

DIRECTOR

小川美月 MIZUKI



映画『ブタがいた教室』で女優デビュー。中学3年時、韓国芸能事務所からスカウトされたことをきっかけに16歳で単身渡韓。2013年、日本人初の韓国アイドルとしてデビュー。CJE&M;所属練習生を経て、YG ENTERTAINMENT制作のサバイバルオーディション番組『MIX NINE』に挑戦。2020年、グローバルガールズグループ「SECRET NUMBER」として再デビュー。Asia Artist Awards 2020「Best New Female Artist」受賞など、韓国国内外で活動。グループ卒業後はモデル・女優として新たな表現活動を続け、映画『明日へのコード』で映画監督を務める。

DIRECTOR'S MESSAGE

「失敗とは誰が決めるのだろうか。成功とは何だろうか。夢を叶えられなかった人は、本当に失敗なのだろうか。」

夢とは、叶うか叶わないかだけで語れるものではない。たとえ途中で立ち止まったとしても、その時間は決して無駄にはならない。誰かの中に残り、やがて別の誰かの未来へ受け継がれていく。『明日へのコード』は、そんな想いから生まれた作品です。

この映画が、誰かの明日へ続く小さな一歩になれば幸せです。

監督 小川美月

一本のギターが、人から人へ「夢」をつなぐ

登場人物たちの手から手へと渡っていく一本のギター。

しかし、受け継がれていくのはギターだけではありません。

そこに込められた想いや経験、言葉にできなかった気持ち、そして夢もまた、次の誰かへとつながっていきます。

自分がたどり着けなかった場所へ、
次の誰かが進んでいくかもしれない。

自分が経験した悩みや迷いが、
これから夢を追う誰かの一步になるかもしれない。

夢は、叶えるだけではなく、
受け継がれていく。

一本のギターは、その想いを人から人へつなぐ“バトン”として、物語の中を旅していきます。

美月が作詞する、主題歌「BRAND NEW CODE」



映画で描く想いと、美月自身が夢を追う中で経験してきた感情を、一曲の言葉へ。

「BRAND NEW CODE」は、映画のために用意された単なる主題歌ではありません。劇中でも、夢に迷う登場人物たちがそれぞれの想いを持ち寄ることで生まれる、物語の重要な一曲として登場します。

現実の「BRAND NEW CODE」を歌うアーティストは、オーディションを通じて選出予定。未経験であっても、「夢を追ってみたい」「新しい自分に出会いたい」「何かを変えたい」という想いを持つ人に挑戦の扉を開きます。

主題歌	BRAND NEW CODE
作詞	小川美月
作曲	HAL
アレンジ	Kohey Nakano
挿入歌	Refrain / 美月

日本47都道府県を巡り、その先の韓国へ



主題歌アーティストに選ばれた一人は、一本のギターと「BRAND NEW CODE」を携え、日本47都道府県を巡るプロモーションに挑戦します。各地で人と出会い、歌を届け、時には思うように届かない現実とも向き合いながら進む。その変化も、オーディションから続くドキュメンタリーとして記録します。

そして、47都道府県を巡る挑戦のゴールは韓国。日本全国で「BRAND NEW CODE」を届けた先で、韓国でのイベント・プロモーションへ挑戦します。

日本から韓国へ。

主題歌「BRAND NEW CODE」は、国内盤・韓国盤でのCDリリースを予定しています。映画と音楽、そして現実の挑戦を一本の“コード”でつないでいきます。

日本から韓国へ。そして、その先へ。

映画『明日へのコード』が目標とする舞台の一つが、釜山国際映画祭への出品です。韓国でK-POPアイドルとして夢を追った美月が、今度は映画監督として自らの作品を携えて韓国へ向かうことを目指します。

『明日へのコード』を、ともにつくるパートナーを募集

明日へのコード制作委員会では、この作品の想いに賛同し、ともに作品を届けていただける企業・ブランド等の協賛・タイアップパートナーを募集しています。商品・サービス、衣装、車両・移動、宿泊、撮影協力、イベント、プロモーションなど、それぞれの企業だからこそできる形での連携を歓迎します。

単に映画の中へ企業名や商品を掲載することだけを目的とはしていません。「なぜ、この企業と一緒に取り組むのか」までを一つのストーリーとして届けることを目指しています。

PRODUCTION INFORMATION

作品名	明日へのコード
監督	小川美月（レア）
脚本	馬場基晴
企画・制作	Any-you
撮影地	大阪
公開予定	2027年秋 劇場公開予定
主題歌	BRAND NEW CODE
挿入歌	Refrain
CDリリース	国内盤・韓国盤を予定
展開予定	ドキュメンタリー撮影 / 日本47都道府県プロモーション / 韓国イベント・プロモーション
目標	釜山国際映画祭への出品

協賛・タイアップ・取材等のお問い合わせ

明日へのコード制作委員会（Any-you）

E-mail：info@any-you.jp

誰かの夢が、誰かの明日につながっていく。

映画『明日へのコード』は、スクリーンの中で描かれる物語と、これから現実に生まれていく物語を一本の“コード”でつなぎながら、日本から韓国へ、そしてその先へ。新しい夢をつないでいきます。